

ご使用前に必ずお読みください

*取扱説明書内にイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
*デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。



接続機器名/ BTE13X
パスキー/ 0000 (ゼロを4つ)

BTE13シリーズ Bluetoothミニイヤホン
BTE130/131/132

技適認証ナンバー/R204-920387

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

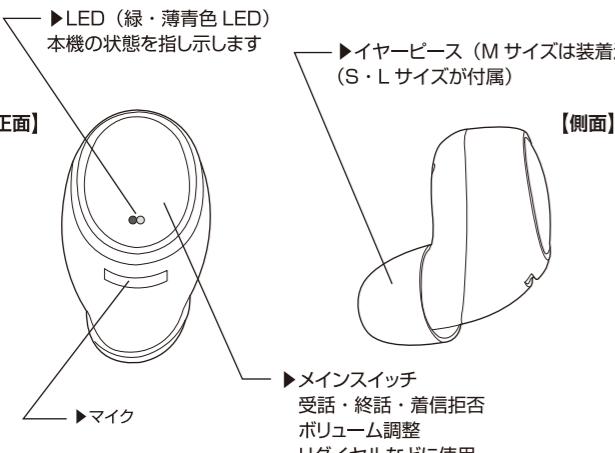
はじめに

本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォンなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続機器」もしくは「携帯電話」と表記しております。

本製品の構成と名称、部品のはたらき



<主な操作概要(本体/イヤホン)>



*充電ケースからイヤホンを取り出すと、電源が入ります。イヤホンだけで電源ONはできません。
*その他のごとに記載のない機能もあります。

*全ての接続機器で全ての機能が使えるわけではありません。

190927

本製品をご使用する前に行っていただく準備

本製品をお使いになるまでの手順は以下の流れになります。

[ご使用・取り付けの前に]

1. 開封と確認
2. 製品を充電する
3. 本製品と携帯電話機をつなぐ

■商品の内容、付属品を確認願います

■製品をご使用になる前に充電してください

■本機を携帯電話機に登録して接続します

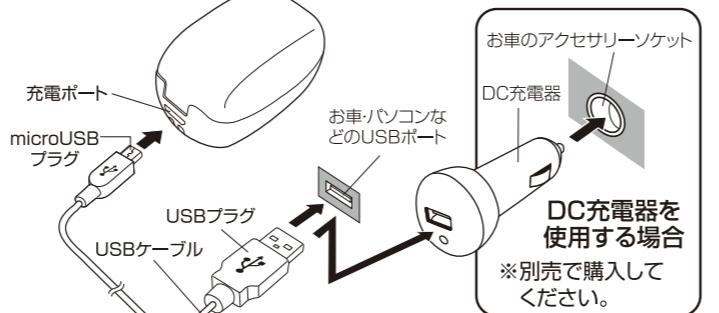
[1. 本製品を開封し、内容物と製品に機能を損なうような問題がないかご確認ください]

- 万が一、欠落した部品があった場合や、輸送上の不慮の衝撃などが原因で破損などを認められた場合は、使用を中止し、本紙記載のお客様サポートセンターにご相談ください。
- 本製品は出荷時にイヤーピース(Mサイズ)が取り付けられていますが、より大きいLサイズとより小さいSサイズも同梱しております。耳に合わせてイヤーピースのサイズを選んでからご使用ください。
- イヤーピースは、つまんで、やさしくねじりながら取り外して交換してください。
- ※無理に剥がすと、破れ、切れなど破損の原因になります。紛失、破損した場合でイヤーピースだけをお買い求めいただきたい場合は、商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(お取り寄せとなります)。
- 落下の原因となりますので、イヤーピースがきちんとイヤホンのスピーカー部の根元まではまっていることを確認してから、耳にはめてください。

[2. 本製品を充電する]

充電には、必ず付属品(USBケーブル)を使用してください。
付属品以外のケーブルなどを使用になった場合の故障、事故おきましては、当社ではその責任を負うことはできません。

- 本製品は充電池を内蔵しています。工場出荷時は50~70%の充電量ですが、開封時は充電量が減っている場合もありますので、ご使用前に一度充電してお使いください。
- パソコンのUSBポートやDC充電器(別売)のUSBポートから充電する場合、USBポート内にホコリ、ゴミ、汚れ、液体の混入がないか、予めお確かめください。
- USBケーブルのmicroUSBプラグを充電ケースの充電ポートに向きに気をつけてゆっくり差込ください。
- USBプラグ/microUSBプラグには差し込み方向があります。プラグ形状とUSBポート/microUSBポートの形状をよく確認してから接続してください。プラグを外す際には、必ずプラグの根元をしっかりと持って、水平にゆっくり抜いてください。
- 充電ポートは小さくデリケートなので、差し抜き時に乱暴に扱わないでください。破損したままお使いになると、機器の故障や事故の原因になります。
- イヤホンへの充電が開始されたとイヤホンのLEDが緑点滅します。イヤホンが満充電になったら消灯します。
- 充電ケースへの充電が開始されると充電ケースのLEDが点滅します。
- 充電ケースにイヤホンをセットした状態でケーブルつなぎ充電した場合、イヤホンの充電を優先します。そのため、充電ケースまでの完全充電完了まで時間がかかる場合があります。



- 充電池の劣化を防ぐため、充電が完了したら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
- イヤホンを長期間使用していないかったり、充電池が完全放電した状態では、LEDが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)

[3. 本製品をBluetooth機能付き接続機器(携帯電話機など)に登録・接続します]

本製品をはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話機とペアリングしてください。

*携帯電話機などのペアリング(機器登録)から接続までの手順は、別紙の取扱説明書Aに詳しく記載しています。そちらも必ず参照願います。

[ペアリング(機器登録)～Bluetooth接続まで]

①イヤホンと携帯電話機の間に障害がないよう近づけてください。(約15cmぐらい)

*携帯電話機に本製品以外の他のBluetooth機器が接続されている場合、一旦その機器との接続を切るか、その機器の電源を切ってください。

②工場出荷時はイヤホンをケースから出して4、5秒後に自動でペアリングモードになります。

*充電ケースからイヤホンを取り外してください。LEDが薄青の点滅になり、ペアリングモードを開始します(180秒間行います)。

③携帯電話機をBluetooth探索(サーチ)モードにして、本機の機種名(BTE13X)をリストアップさせます。

*携帯電話機の[設定]画面から[Bluetooth設定]を開き、[Bluetooth機能]をONにして機器の[探索(サーチ)]を選択してください。携帯電話機の機種により用語や手順が違いますので、別紙の取扱説明書Aに携帯電話機の取扱説明(マニュアル)もご確認願います。

④通常、数秒から数十秒で探索の結果が携帯電話機に表示されます。本機の[BTE13X]がリストに表示されたら、タップなどの操作で選択してください。

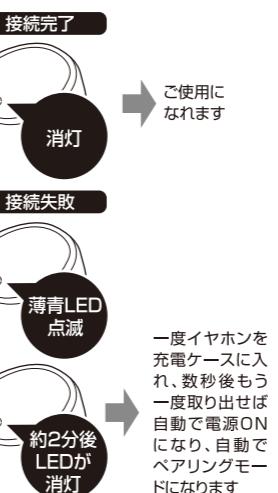
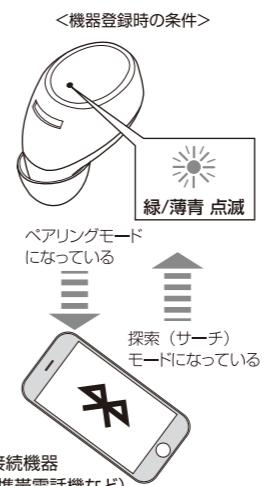
*ペアリングしたのに本製品と再接続しない場合や、再度ペアリングモードに移行してしまった場合は、携帯電話機側のリストを開き、[BTE13X]を選択すれば接続します。

*選択後、パスキー(Bluetooth認証PINコード)を要求された場合、「0000(ゼロを4つ)」を入力します。

*数秒待つペアリング(機器登録)が完了し、携帯電話機への機器登録が成功します。接続機器によっては、そのまま自動で接続されます。

*約180秒以内に登録しないと、薄青LEDがゆっくり点滅し約2分後に電源がオフになります。

*ペアリングに失敗した場合やペアリングモードが開始されない場合は、一度充電ケースに入れて電源を切ってください。再度ペアリングモードにしてください。



<主な操作、電子音、LEDのはたらき>

機能、状態	操作もしくは操作の結果	LED 表示	音声案内・電子音
電源 ON	充電ケーブルからイヤホンを取り出す	薄青 1秒間点灯	電源が入りました
電源 OFF	イヤホンを充電ケースに戻す	-	-
ペアリングモード	充電ケースから取り出して約5秒後	薄青・緑の速い点滅	ペアリングモード
ペアリング失敗	180秒経過したか機器登録失敗した時	8秒ごとに薄青1回点滅繰り	-
ペアリング完了	180秒以内にペアリングが成功した時	LED 消灯する	接続しました
待受け待機中	携帯電話機と接続している時	LED 消灯継続	-
接続未端が近くない	接続可能な携帯電話機が近くにない時	-	-
接続解除	手動で接続を解除したか、自動解除した時	薄青3回点滅	接続解除
音量調節	通話が再生時、メインスイッチを長押し	-	-
音楽再生 / 一時停止	メインスイッチを短く1回押す	-	-
リダイヤル	リダイヤル	-	-
Siri起動 (iPhone)	待受け時、メインスイッチを短く3回押す	-	-
着信	着信時、メインスイッチを短く1回押す	-	-
受話	通話中、メインスイッチを短く1回押す	-	ブー
終話	着信時、メインスイッチを短く1回押す	-	ピロピロ
着信拒否	着信時、メインスイッチを短く1回押す	-	-
リセット	※本製品にはリセット機能はありません。	-	-

*本製品にはミュート機能はありません。

*上記は代表的な内容ですので、ご使用に差し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。

*上記の操作、動作、LEDの点灯、電子音の発生は全ての接続機器に反映されるわけではありません。一部の機種では内容が変わるものがあります。

*HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。

1. 主な仕様諸元

本体項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 4.2
Bluetooth対応プロファイル	HSP,HFP,A2DP
Bluetooth無線周波数	2.4 GHz スペトラム
使用可能距離	Class 2/見通し 10 m※
連続通話最大時間	2時間 ※
連続受取可能時間	40時間 ※
内蔵バッテリー	リチウムポリマー電池
接続器表示名	BTE13X
パスキーコード	0000(ゼロを4つ)
充電端子	microUSB TYPE-B
製品寸法・重量 (本体・突起除く)	H25xW17x D27mm 約4.2g

付属品仕様項目	仕様
ケーブルコネクタ仕様	USB TYPE-A プラグ microUSB TYPE-B プラグ
ケーブル露出長	約16cm

*環境温度の変化、通信状況、通信距離が長くなることで、通話時間や待機時間が極端に短くなることがあります。

*Bluetooth接続機器の仕様や性能によって、通信距離やバッテリー残量などは変化します。

●2.4GHz 帯を使用する無線 LAN (IEEE802.11g/d/n)との併用は、電波干渉の発生により、利用できない場合があります。

●Bluetooth機器は相手側機器との仕様の違いにより、すべての機能や動作の保証が可能でない場合があります。

<各スイッチの主な操作>

[メインスイッチ]

- 着信を受ける▶着信時、短く1回押す
- 着信拒否▶着信時、長押し
- 通話を終わる▶通話時、短く1回押す
- 待受時に直前に掛けた番号に再発信▶素早く2回押し
- 待受時にsiri起動 (iPhone)▶素早く3回押し
- 通話時、音楽再生時に音量を上げたい▶長押しを続ける(約15ステップ単位で音量が徐々に上がり、最大音量に達すると、ピーク音が鳴ります。そのまま指を離さず押し続けると、再度、約15ステップで今度は音量が下がっていきます)
- 下がりきったところでも押し続けると、今度は音量が上がっていく。
- 接続した携帯電話によっては、音量アップ時に時間がかかる場合がありますが故障ではありません。



本製品のご使用方法

<各スイッチの主な操作>

[メインスイッチ]

- 着信を受ける▶着信時、短く1回押す
- 着信拒否▶着信時、長押し
- 通話を終わる▶通話時、短く1回押す
- 待受時に直前に掛けた番号に再発信▶素早く2回押し
- 待受時にsiri起動 (iPhone)▶素早く3回押し
- 通話時、音楽再生時に音量を上げたい▶長押しを続ける(約15ステップ単位で音量が徐々に上がり、最大音量に達すると、ピーク音が鳴ります。そのまま指を離さず押し続けると、再度、約15ステップで今度は音量が下がっていきます)
- 下がりきったところでも押し続けると、今度は音量が上がりていく。
- 接続した携帯電話によっては、音量アップ時に時間がかかる場合がありますが故障ではありません。

1 電源を入れる

電源を入れる 充電ケースからイヤホンを取り出す

■充電ケースからイヤホンを取り出す▶電源が入ります（薄青 LED が点灯）。
■「電源が入りました」という音声が聞こえます。
※薄青 LED 点灯を確認した後、耳に入れた場合は音声案内は終わっており聞こえません。

▶ 音声案内 「電源が入りました」

2 ペアリング（機種登録）、接続試行 ※本書表面や取扱説明書Aもご参照願います

■ペアリング（機種登録）モードや接続をする場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※ペアリングや接続に関しては、別紙の取扱説明書Aと取扱説明書B（本書）の表面に詳しい記載をしております。必ずそちらをご覧になっていただき、ご使用願います。

ペアリングモード 充電ケースからイヤホンを取り外す

▶ 音声案内 「ペアリングモード」

■充電ケースからイヤホンを取り外すと「ペアリングモード」という音声が聞こえます▶薄青・緑の速い点滅を開始しペアリングモードに移行します。
※イヤホンLEDの薄青・緑点滅を確認した後、耳に入れても音声案内は終わっており聞こえません。
※ペアリングモード中、何も操作しないと180秒後に終了し、さらに約2分後電源が自動でOFFになります。

▶ 音声案内 「接続しました」

■LEDが消灯します。
※電源ONの後に一時的にペアリングモードになってから登録履歴の機器と自動接続した状態では、本体の薄青LEDが消灯します。

▶ 音声案内 「接続解除」

■手動・自動で接続を切ったり、範囲外に接続が切れると、「接続解除」「ペアリングモード」の音声が流れます。約5分後には電源オフになります。

3 電源を切る

電源を切る 充電ケースに入れる / Bluetooth の接続を切って 5 分後

■充電ケースにイヤホンを入れる▶電源オフになる。
※手動・自動で接続を切ったり、範囲外に接続が切れると、「接続解除」「ペアリングモード」の音声が流れます。約5分後には電源オフになります。

■イヤホンを充電ケースに入れて、すぐに取り出さず、3~4秒待ってから取り出してください。充電ケースにイヤホンをセットして1~2秒間静置後、充電が必要と判断された場合は充電を開始しますので、イヤホンを充電ケースにセットしたまま、しばらくお待ちください。

■使用中、内蔵電池の残量がなくなると、警告案内がされシャットダウンします。

4 ハンズフリー機能を使う<1>～発信する

■携帯電話機の画面から発信先を表示させ、通常と同じ操作で発信してください。

電話をかける	待ち受け時、携帯電話機側で発信操作を行う
--------	----------------------

※携帯電話機側で発信操作を行った後、一部の携帯電話機では、本機にハンズフリー通話を受け渡す為に携帯電話機側での操作が必要な場合があります。その場合は発信後に携帯電話機で次のような操作を行ってください。

通信事業者／端末機種など	操作もしくは操作の結果
iPhone	初期設定は自動接続。手動では音声出力先に本機「BTE130X」を選択。
主な Android	初期設定は一部を除き自動接続。手動では Menu で「Bluetooth」を選択。
Android (SHARP の一部)	Menu で「Bluetooth」を選択。端末の Bluetooth メニュー設定で「常にハンズフリー」を選択すると、発信後、自動で本機に通話の受け渡しを行います。
docomo 端末機種	携帯電話機で発信後、「[通話ボタン] を長押してください。
au 端末機種	携帯電話機で発信後、「[EZ ボタン] を押してください。
SoftBank の端末機種	携帯電話機によって操作が異なります。端末の取扱説明書をご確認願います。

※上記はあくまで主な一例です。端末機種により、この上記の内容以外の方法もありますので、携帯電話機の取扱説明書をご確認願います。

5 ハンズフリー機能を使う<2>～着信時に電話を受ける、着信拒否する、終話する

電話を受ける	着信時、メインスイッチを 1 回押す
--------	--------------------

■着信中、本機の以下の操作で着信拒否を本機からの操作で選択できます。

着信拒否する	着信時、メインスイッチを長押しする
--------	-------------------

■通話中、本機の操作で終話を選択することができます。

終話を選択する	通話時、メインスイッチを 1 回押す
---------	--------------------

「ブー／音がなります（通話終了）」

6 ハンズフリー機能を使う<3>～イヤホンから聞こえる音量を調整する

■メインスイッチを長押しするとボリュームアップダウンを繰り返します。

音量の調整	メインスイッチを長押し
-------	-------------

7 ハンズフリー機能を使う<4>～最後に掛けた電話番号もう一度発信する

■待受中、本製品の操作だけで携帯電話機で最後に掛けた電話番号に発信（ラストナンバーリング）することができます。

ラストナンバーリング	「メインスイッチ」を連続して 2 回早く押す
------------	------------------------

※携帯電話機の発信履歴が消去されるような操作を行うと、ラストナンバーリングは発信されません。

8 音楽を聞く

■音楽再生可能な接続機種とつないで音楽を聞く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※接続機種の音楽再生をする場合は、相手側にも A2DP が搭載され、本製品との間で A2DP 接続していることが必要です。手動の接続が必要な場合がありますので、接続機種の取扱説明書をご確認願います。

音楽の再生開始	待ち受け時、メインスイッチを 1 回押す
音楽の一時停止	音楽再生時、メインスイッチを 1 回押す
音量の調整	メインスイッチを長押し

※接続機器の仕様やソフトウェアの仕様により、一部の操作が対応できない場合があります。

9 ワンセグを試聴する

■ワンセグ試聴が可能な機種とつないで音声を聞く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※本機は SCMS-T 方式で保護された音楽やワンセグ放送の音声に対応しています。以下の操作を行う場合は、接続機器側も A2DP が対応して接続しており、SCMS-T 方式にも対応している事が必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認願います。

音量の調整（音楽再生と同じ）	メインスイッチを長押し
----------------	-------------

10 充電ケース、イヤホンの充電について

■イヤホンをセットした状態で充電ケースを充電する時はイヤホン内蔵電池の充電を優先します。充電中は充電ケースの LED が点滅します（電池が両方とも空の状態からイヤホン・ケース両方の完全充電までは約 4 時間）。

※イヤホンを上から軽く押して充電ケースの接点端子を確実に接触させて、蓋を開めてください。

※充電ケースとイヤホンを同時に充電した際、満充電のサインは充電ケース LED が点灯で、イヤホン LED は消灯です。

■イヤホンをセットしないで充電を行った場合、充電ケースのみを充電します。充電中は LED は点滅し、充電が完了すると LED が点灯になります（約 2 時間）。

※充電ケースを充電しながらイヤホンを脱着する動作を必要以上頻繁に繰り返すと、充電ケースの内蔵充電池の劣化を早めますのでご注意ください。

※イヤホンの内蔵充電池の劣化を抑えるために、充電ケースにイヤホンをセットした直後 1~2 秒の間、充電を一旦保留する自動電池保護機能が搭載されています。

11 通信可能距離から外に離れてしまった場合

①接続中の携帯電話が機器の通信範囲(5~10m)から離れた場合、接続(リンク)が切断します。
②約 5 分以内に通信範囲に戻れば、自動で再接続を試行します。
※接続機種によっては、自動で戻らない場合があります。それでも戻らなかったりリンクも外れてしまった場合は、携帯電話機側の接続機器画面で本機をリストから選んで再接続してください。
③離れたまま連続で約 5 分が経過すると自動で電源が切れます。この場合はその後、10m 以内に戻った時に電源を入れてから携帯電話機側の操作で再接続を行ってください。
④携帯電話側で Bluetooth をオフにした後、再度 Bluetooth をオンにした時は、自動で再接続するか、1 度充電ケースに入れて、電源をオフ/オンにしてください。

取り扱い上の注意

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
- 警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵文字の区分は、お守りいただく内容 してはいけない禁止事項を示します。必ず実行していただきます。

警告

ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

本製品を火中に投下したり火炎の近くでご使用になったり、充電しないでください。
爆発や破裂によって、重大な事故の原因になります。

本製品の使用温度は -40°C~100°C です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。また、工事現場の近く、駅のホームなどの交通機関など、危険な場所では本製品のご使用を中止してください。

運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USB ケーブルの抜き差し、DC 充電器の操作も運動操作の妨げになりますのでやめてください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車停車してからおこなってください。

本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。

水分にさらされた内面に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因になります。また、本体、特に端子やポート内が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしてください。

火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、本体や充電ケースを分解・切断しての直接配線、傷がない状態でのご使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

小さなお子様（乳幼児）やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。

小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所（病院、交通機関、一部の工事現場など）では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

本製品と同じ 2.4GHz を使用する機器のまわりでは使用しないでください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

注意

ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、けがの原因になります。

極端な低温(0°C 以下)での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

本製品を屋外（車外）や温度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。

製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。

本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所にケーブルを繋ぎ直して保管してください。

各ブランドを抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。

回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

付属しているケーブル以外で、充電ケースを充電しないでください。

製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

充電ケース及びイヤホンの LED 光源を直視しないでください。

目の健康をそこねるおそれがあります。

困った時は…

- 故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のようない状況で使用できない場合の対処法

- 携帯電話で検索（サーチ）しても本機の機種名「BTE13X」が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの携帯電話が再接続（自動再接続）できない
- ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような状況が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。※リセットをするとより確実です。

②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。

上記の方法でほんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話の Bluetooth 登録機器リストから本機の機種名「BTE13X」を一旦削除し、再度ペアリングしてください。

それでも解消されない場合は、携帯電話機のリセットで解消される場合があります。



症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	充電ケースの接点とちゃんと接触されているか確認願います。 イヤホンと充電ケースが充電できているかを確認してください。 イヤホンの接点の汚れを拭いたり、充電ケースの接点で軽く擦ってください。
電源をオンにすると薄青点滅になる	本機がどの機種電話ともペアリングされていない状態（お買い求め直後の状態）では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングができない	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。 携帯電話機が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認いただき、可能であれば他の携帯電話（適合機種）で一度ペアリングを試してください。
ペアリングモードにならない	充電ケースのオフ/オンにする時間が短い可能性があります。 別の機種電話とペアリングされていないか、ご確認ください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000（ゼロを4つ）」です。
通話、受信ができない	携帯電話の電源とBluetooth機能がオフになってしまいませんか？HFPで接続がされているか、携帯電話側の設定画面をご確認ください。 一部の携帯電話（SHARP製など）では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器つながらない設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。電話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用的な有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離すぎているか、携帯電話の間に電波を遮断するような物や、電気機器などがいるか確認してください。 携帯電話をズボンの後ろポケットやバック類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
本機の操作で発信ダイヤルできない	自動アドアや電子レンジ、2.4GHz 帯周囲の電波を発する機材が近くにあっており、工業設備、アンテナ設置などで近くで稼働している場合、多くの無線機器が使われている場所などでは、電波の干渉を受け、接続が解除されたり、ノイズが入りたり、音が飛んだりする場合があります。
リダイヤルできない	HFP（ハンズフリープロファイル）が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP（ヘッドセットプロファイル）で接続している可能性があります。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
携帯電話との接続（リンク）切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	本製品をペアリング後、長期間使用していない場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください。（※ペアリングではありません）
イヤホンがOFFになってしまいませんか。充電ケースに入れ出して電源をONにしてください。また、携帯電話を再起動ください。	イヤホンがOFFになってしまいませんか。充電ケースに入れ出して電源をONにしてください。また、携帯電話を再起動ください。
ワイヤレスの音声や音楽が聞こえない	携帯電話機側の音量レベルが音量調整の操作をしていないなくても、携帯電話機側で調整した場合はそちらの音量レベルが優先されます。接続機器側の操作状況もご確認ください。
本機の操作で発信ダイヤルできない	本機で可能な発信機能は、ラストナンバーリング（一番最後に発信した番号へのリダイヤル）のみとなります※メインスイッチを短く2回押すと自動発信します。